

三浦半島の最高峰、おじさんハイキング

霞が関支部 Y 氏からの投稿

令和 7 年年明け、今年は山歩き少し頑張るぞ。

友人 I 氏から昨年、ハイキングをしてみたいとお誘いがあったなと思いだし、1 月の冬の温かい日差しのハイキングを計画した。以前行ったことのある三浦半島最高峰「大楠山」標高 241m である。成人の日 13 日、I 氏に京浜急行「横須賀中央駅」待ち合わせでとメールした、品川駅から京浜急行快速でのんびり景色をみながら、久々のハイキングに天気も最高でよかったと。

横須賀中央駅に近づく頃、「あれ、なんで横須賀中央？」にしたのかへんだな、前回の前田橋からの入山コースは、逗子からバスだったよね。しまった。スマホで「横須賀中央駅から大楠山」を調べ、今日は前回と逆コースの計画にと、認知症気味の自分を忘れていた。

駅の観光案内でバス乗り場を教えてもらい、無事乗車、「行き先間違いないよね」とソワソワしてたら、I 氏から「まあ一日はまだ長いから、乗り換えてもいいんじゃない。」と、さすが町散歩の達人だよな。バスは、無事、ハイキングのスタート地点（さっき決めたばかり）のバス停・衣笠公園入口に着いた。

急坂から衣笠公園を通過し、反対側の一般道に下った「せっかく登ったのにと」I 氏はつぶやいていた。一般道を 45 分位歩き、しょうぶ園に着いた、前回ハイキングの下山場所だと思いだした。ここから少しづつ登りだし、横横の高速道路をくぐり、小さな沢沿いから大楠山に取り付いた。手摺りのない小さなアーチのセメント橋を通り、急な登りがはじまった。重い足取りでゆっくりリズムの登りを心掛けた。もちろん途中の道では、若いハイカーに何人か「お

先に行ってください」と声をかけていた。

取り付きから40分ほどで、ゴルフコースのグリーンが金網越しに見えた、そこから金網のトンネルで登りが続いた、狭いトンネルで下ってきたハイカーに「すみません、ありがとう」とすれ違いのお礼をした。登りきり息も弾む中また頂上への直登の階段が登場したが、おじさんたちは、迷うことなく左の遠巻き道を選択した、20分ほどで頂上に到着した。子供づれの家族や多くのハイカーが楽しそうに、「お弁当タイム」をしていた。俺たちも駅改札横のセブンイレブンおにぎりにありついた。ふと振り向くと桜の花（河津桜）が一凛だけ、記念写真をいただいた。遠くには富士山、大島もくっきり見えていた。



下りは、前田橋コースで足元に気を付けてゆっくり「急坂でなくてよかった」とリズムカルに下った。40分位で前田川遊歩道に入った、ほどなくI氏が「蛙がいるよ」と木の幹を見て、「うん、どれが蛙」「横から見るとだよ」と「なるほど横から見ると蛙が木に抱きついているね」I氏は意外と芸術家か？



水際の飛び石を楽しみながら、滑らないように20分位で前田橋に到着した。通りに出ると、なんとタイミングよくバスが来た、葉山御用邸を經由し JR 逗子駅に着いた。

まだ、15時では店は開いてないな。I氏からやはり「大船駅」で一杯だなと当然の意見に当然賛同した。逗子駅から四つ目、いい時間で第二弾をスタートした。

ハイキングから二日後、I氏から「足が痛いよ〜。」の報告あり、俺は大したことないよ？と、ハイキングの次の計画を立てようと思う。